

宮崎県拠点だより



南九州初！バイオガスプラント本格稼働

～酪農家「(株)本部農場」の取り組み～

(株)本部農場(新富町)は、令和2年6月、南九州の個人農家としては初めてバイオガスプラントを建設、稼働されました。経産牛233頭、未經産牛122頭で、県内有数の経営規模を誇る同農場が、大規模経営が直面するさまざまな課題を解決するため導入したものです。

このプラントを導入することにより、以下のような効果が期待されています。

1つ目は、労働力の軽減で、毎日約22トンも排出される糞尿の堆肥化に必要な繰り返し作業等労働力の大幅な軽減。

2つ目は、消化液利用で、メタン発酵後の残渣(消化液)は良質な液肥として利用。

3つ目は、衛生的な敷料による乳牛に対する罹患防止の効果。発酵過程で減菌された消化液から分離した固形残渣は敷料として使用でき、かつ、おが粉購入費用の削減。

4つ目は、バイオガスにより発電した電気を販売し、収入は償還金に充当。



代表 本部博久氏

バイオガスプラント全景

5つ目は、適切な糞尿処理が進み、水質汚染等が防止でき、周辺地域への臭気対策など環境衛生が向上。

代表の本部博久氏は、プラント導入により堆肥化処理労力や、おが粉購入費の削減、周辺への悪臭低減効果を実感されています。循環型農業を確立し、将来は1,000頭規模の新しい酪農経営モデルを確立したいと目標を見据えています。

宮崎県内に和牛放牧を広めよう！！

～日南市で第1回宮崎県和牛放牧研修会開催～

令和2年10月2日、日南市で第1回宮崎県和牛放牧研修会(宮崎県畜産協会主催)が開催され、県内各地から約50名の繁殖和牛生産者や行政関係者等が参加しました。

現地視察では、日南市板敷の山間部で、肉用牛経営を5年前から実践する三賢訓士氏の放牧地を訪れ、経営概要や放牧状況について以下の説明を受けました。

同氏は、約6.7haの放牧地に、3月中旬から11月中までの8ヶ月間、母牛25頭と離乳前子牛(3～4ヶ月齢)を常時放牧。

放牧期間中は、朝夕2回の見回りのみで、通常の畜舎飼いに比べ大幅に労力が軽減され、えさ代等コストがかからないこと。通常の畜舎飼いに比べ死廃事故が少ないこと。

注意点は、牧草が少なくなると脱柵しやすくなること、及び下草が伸び漏電の危険性があるため、朝夕の見回りが必要なこと。放牧密度が高ならないように気をつけること。



牧草を啄む母牛たち



和牛放牧の説明状況



研修会風景

座学研修では、南那珂農業改良普及センターで、日本草地畜産種子協会の梨木守放牧アドバイザーから、放牧のメリット、基礎技術などについて説明を受けました。

肉用牛放牧を普及するためには、広い放牧地の確保が一番大切で、そのためには土地貸借のアシストとして、農地中間管理機構等が農地斡旋に機動的に取り組むこと、今後、放牧指導体制の充実が必要とのことでした。

宮崎市の畜産農家岩切真美氏からは、西臼杵地区や大分県における放牧優良事例の紹介があり、その後活発な意見交換がされました。

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意し、 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を!

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しよう!

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



~~大声~~・~~大人数~~・~~長時間~~

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を実践しよう!

- 飲酒をするなら、① **少人数・短時間**で
- ② なるべく **普段一緒にいる人と**
- ③ **適度な酒量**で 楽しもう!



- 会話する時は **マスク着用!**
- 箸やコップは **使い回さない!**
- 席は **斜めに座ろう!**
- **ガイドラインを守る店**を選ぼう!
- (例)  換気  手指消毒
- **体調が悪い人は参加しない!**



感染リスクが高まる「5つの場面」の詳細
<https://corona.go.jp/proposal/>
← 詳しくはこちら!! (内閣官房 HP)



農林水産省 HP での掲載ページ
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html
← 詳しくはこちら!! (農水省 HP)

地方参事官ホットライン

TEL 0985-24-2365

FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来のこどもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。